

# コクヨ株式会社 様

オフィス空間設計を通じて先進的なワークスタイル変革を提案し続けるコクヨ様、富士通の仮想デスクトップサービス V-DaaSを採用

働く人・学ぶ人の知的活動を豊かにする商品・サービスを提供するコクヨ株式会社様では、仮想デスクトップ基盤の展開を視野に入れ、東京の霞が関オフィスでトライアルを実施。そのソリューションとして「FUJITSU Managed Infrastructure Service 仮想デスクトップサービス V-DaaS (以下、V-DaaS)」を導入しました。利用者からの評価も高く、ワークスタイルの改革に向けて、貴重なノウハウやデータを蓄積しています。



## 課題

- オフィスにとらわれない働き方の実践
- 一人一台 PC から共有 PC へ
- 仮想デスクトップ基盤の運用安定化と信頼性向上

## 効果

- 仮想デスクトップ基盤を導入し、社外や自宅からでもオフィス内と同等に業務できる環境の実現
- オフィス内のPCを一人一台から複数メンバーでの共有スタイルへ
- 24時間365日、安定的に環境を提供し障害発生時にも迅速に対応できる体制

コンサル/ SI

アプリケーション

モバイル活用基盤

セキュリティ

ネットワーク

デバイス

## 導入サービス

FUJITSU Managed Infrastructure Service 仮想デスクトップサービス V-DaaS

## 採用のポイント

運用の信頼性と社内システムとの接続スピード。さらに、これまでも富士通の製品・サービスを多く利用しており、富士通のサポート力を高く評価

### ワークライフバランスを考えた新しい働き方を追求

同社では、商品・サービスを提供するばかりでなく、働き方やオフィスの新しいスタイルに自らチャレンジし、それを広く発信しています。

1969年、社員が実際に働く姿を見学できる「ライブオフィス」を日本で初めて実現。以来、時代に先駆けるように新しい働き方を創造・発信し、大規模な無線LANやクラウド利用などICTを活用したオフィス環境の構築にも積極

的に取り組んでいます。

「今回の仮想デスクトップサービスのトライアルを目的とした利用も、このような当社の姿勢から生まれてきた新しいチャレンジなのです。」

このように話すのは、経営管理本部 情報システム部 ワークスタイルソリューショングループの白須恵子氏。白須氏は、PC やスマートデバイスの管理などに加えて、それらを活用した同社における新しいワークスタイルの企画にも関わっています。

### 運用信頼性、サポート力を評価

同社では、外出先や自宅でもオフィス内と同等の環境でPCが利用できる仮想デスクトップ基盤の導入に向けて、2015年秋、東京の霞が関オフィスにおけるトライアル利用の検討に着手。複数社からソリューションの提案を受けて検討を重ね、富士通の仮想デスクトップサービス「V-DaaS」の採用を決定しました。

「V-DaaS」を選択した理由について、白須氏は「2つあります」と話しています。



トライアル参加者の8割から「このサービスを継続して利用したい」という回答があり、トライアル期間を延長して「V-DaaS」を利用します。

ココヨ株式会社  
経営管理本部 情報システム部  
ワークスタイルソリューショングループ  
白須 恵子 氏

**ココヨ株式会社様 概要**

**所在地** | 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号  
**代表者** | 代表取締役 社長執行役員 黒田 英邦  
**創業年** | 1905年  
**従業員数** | 連結 6,668名、単体 1,987名  
(2015年12月末現在)  
**事業内容** | 文房具の製造・仕入・販売、オフィス家具の製造・仕入・販売、空間デザイン・コンサルティング、小売業への店舗什物の販売など  
**URL** | <http://www.kokuyo.co.jp/>

その1つは、仮想デスクトップ基盤において鍵となる、運用の信頼性と社内システムとの接続スピード。富士通では、「V-DaaS」のサービスを国内東西2拠点と海外1拠点のデータセンターで展開しています。同社では、基幹システムに関わるサーバを西日本の拠点である明石データセンターに設置。「V-DaaS」の仮想デスクトップ基盤と自社の基幹システムを「構内接続」で接続し、より安定的な接続を実現しています。そして、もう1つの理由として白須氏があげるのが富士通ならではの「サポート力」です。

**「家族と過ごす時間が増えた」という声も**

「V-DaaS」のトライアル利用がスタートしたのは2016年4月上旬。トライアルにあたっては、育児や介護を対象としている在宅勤務制度を、特例で参加者に適用するなど、ワークスタイルにおいても新たな環境にチャレンジしました。約1か月半に及ぶトライアルの結果を、白須氏は次のように話します。

「アンケートを実施したところ、トライアル参加者の8割から『このサービスを継続して利用したい』という回答がありました。また、『自宅で仕事ができるようになってちゃんとした時間に夕食が取れるようになった、家族と過ごす時間が増えた』『新しいワークスタイルの経験をお客様への提案にも生かしている』といった声も寄せられました。」

「外出先での業務の効率が上がった」という声も多かったとのことで、データの比較でもトライアル参加者のオフィス滞在時間が導入後に減少したそうです。さらに、24時間365日、安定して利用できる環境が提供でき、運用管理においても期待値が高いそうです。

**ワークスタイルの改革を目指す**

同社では、こうした利用者からの高い評価を受け、トライアル利用期間を延長して、引き続き「V-DaaS」を利用。蓄積したさまざまなデータやノウハウは、これからの同社の働き方を改革し、ICT資産の価値を高めていくための貴重なヒントになると白須氏は話します。

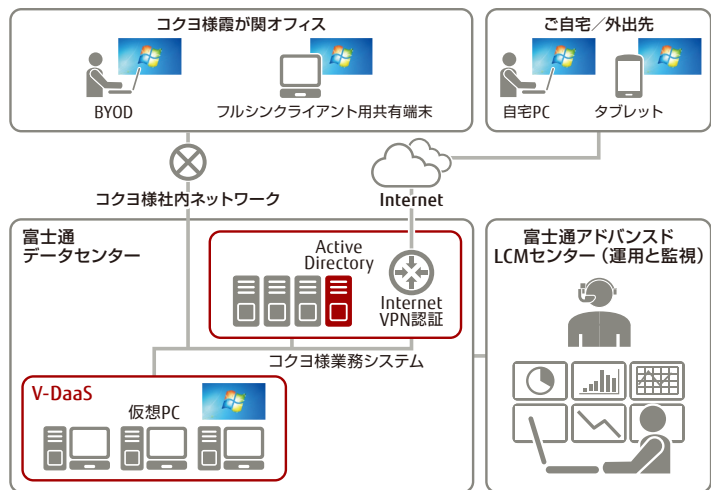
「データを分析してみると、利用スタイルが実に多様であることに気づきます。社外でタブレット端末をずっと持ち歩く人もいれば、気に入った私物のPCを社内でも使う人もいます。これまで私たちはPC環境をプランニングする時、ノートPCの性能は？タブレット端末の台数は？というように画一的になりがちでした。しかし、このような発想には限界があります。ワークだけではなく、ライフ（家族、属性、価値観など）にも適した多様なニーズにフレキシブルに対応していくためには、仮想デスクトップ基盤はとても重要なソリューションになると考えています。」

将来的な展開としては、現在トライアルを行っている事業部門での利用の拡大とともに、他の部門への展開、あるいはさらに踏み込んで全社的な新しいワークスタイルへのチャレンジなども考えられます。風通しのよい組織風土も同社の特徴であり、白須氏は、事業部門や人事など管理部門のメンバーと連携を図りながら、ワークスタイルの改革に向けて新たな取り組みを進めています。

そして最後に、白須氏は富士通のサポートについて次のように話します。

「今回の『V-DaaS』の展開では、常に親身の対応は心強く感じました。今後一緒にチャレンジしていくパートナーとして期待しています。」

「V-DaaS」を利用したトライアルは、同社における新しいワークスタイルの創造ばかりでなく、そこで得た蓄積が同社ならではのサービスや提案に結実する可能性もあります。富士通は、これからも同社のチャレンジを、全力で支援していきます。



(注) 本事例中に記載の肩書きや数値、固有名詞等は取材当時のものです。(取材日：2016年10月)  
また、改善などのため予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

**製品・サービスについてのお問い合わせは**

**富士通コンタクトライン (総合窓口) 0120-933-200**  
受付時間 9:00～17:30 (土・日・祝日・年末年始を除く)

**富士通株式会社** 〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター